



WebFOCUS 8.2.06.33-HF001 の適用 for Linux

このドキュメントでは、すでにインストールされている WebFOCUS 8.2.06.33 に対して、Hotfix001 の適用のための手順を説明します。Hotfix001 は、Apache Log4j の脆弱性に対処するための Hotfix です。

以下のトピックスを確認し、必要な作業を行ってください。

トピックス

- ❑ [8.2.06.33 Hotfix001 の入手方法について](#)
- ❑ [8.2.06.33 Hotfix001 の内容について](#)
- ❑ [8.2.06.33 Hotfix001 の適用手順について](#)

対象ユーザ

- ✓ [すべてのユーザ](#)
- ✓ [すべてのユーザ](#)
- ✓ [すべてのユーザ](#)

8.2.06.33 Hotfix001 の入手方法について

WebFOCUS for Linux 8.2.06.33 Hotfix001 のモジュールは、以下の FTP サイト URL から zip 形式の圧縮ファイルをダウンロードしてください。

FTP サイト URL
ftp://ftp.ashisuto.co.jp/pub/ibi/Patch/WebFOCUS/8206_33_001

上記 FTP サイト URL にエクスプローラーからアクセスし、適用する製品に応じてモジュール（zip 形式の圧縮ファイル）をダウンロードしてください。zip ファイルにはパスワードが設定されています。ダウンロード後、以下のパスワードで解凍してご使用ください。

適用対象	ディレクトリ名	ファイル名	パスワード
Linux 版 WebFOCUS	Linux	wf820633-001lnx.zip	wf202201

8.2.06.33 Hotfix001 の内容について

WebFOCUS 8.2.06.33 Hotfix001 の適用により、以下の Apache Log4j の脆弱性に対応します。

- CVE-2021-44228
- CVE-2021-45046
- CVE-2021-45105
- CVE-2021-44832

8.2.06.33 Hotfix001 の適用手順について

【事前確認】

Hotfixを適用する前にWebFOCUSをインストールしたディレクトリを確認してください。

例 : /<directory>/ibi

以下の手順で WebFOCUS 8.2.06.33 Hotfix001 の適用を行ってください。

1. FTP サイトからダウンロードしたファイル (wf820633-001lnx.zip) を解凍し、[WF_8206.33_HF-001](#) を WebFOCUS インストールディレクトリ直下にコピーします。

WebFOCUS インストールディレクトリ : /<directory>/ibi/

2. コピーした/<directory>/ibi/WF_8.2.06.33_HF-001/ディレクトリに移動します。

例 : `$ cd /<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001`

3. コピーした/<directory>/ibi/WF_8.2.06.33_HF-001/hf001.sh の権限を変更します。

例 : `$ chmod 755 /<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001/hf001.sh`

4. Reportcater Distribution Server、Tomcat のサーバプロセスを停止します。

例 : `$ /<directory>/ibi/WebFOCUS82/ReportCaster/bin/stopit`

`$ /<directory>/ibi/tomcat/bin/shutdown.sh`

5. Reporting Server のサーバプロセスを停止します。

例 : `$ /<directory>/ibi/srv82/wfs/bin/edastart -stop`

6. [/<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001/hf001.sh](#) を実行します。

7. 次のメッセージが表示されますので、WebFOCUS インストールディレクトリを入力し Enter キーを押します。

Enter WebFOCUS Install Directory (Example:/home/webfocus/ibi , /opt/webfocus/ibi) :

[/<directory>/ibi](#)

8. 次のメッセージが表示されますので、Enter キーを押します。Enter キーを押すと

[/<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001](#) 配下にバックアップファイルを取得します。

Press ENTER KEY to continue (backup current file) :

※バックアップファイルを格納するディレクトリ名

`/<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001/Server/srv_backup`

`/<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001/Client/rc_backup`

`/<directory>/ibi/WF_8206.33_HF-001/Client/web_backup`

- 9.** 次のメッセージが表示されますので、Enter キーを押します。Enter キーを押すと Hotfix001 が適用されます。

Press ENTER KEY to continue (apply hf001) :

- 10.** 以下のメッセージが表示されます。

hf001 : complete

- 11.** Reporting Server のサーバプロセスを起動します。

例 : `$ /<directory>/ibi/srv82/wfs/bin/edastart -start`

- 12.** Reportcatser Distribution Server、Tomcat のサーバプロセスを起動します。

例 : `$ nohup /<directory>/ibi/WebFOCUS82/ReportCaster/bin/schbkr &`
`$ /<directory>/ibi/tomcat/bin/startup.sh`

以上で 8.2.06.33 Hotfix001 の適用は終了です。